

自然と触れ「心」でつかく

上山市の特定非営利活動法人(NPO法人)東北青少年自立援助センターは、青少年健全育成活動として「ざおう里山自然ふれあい教室」を展開している。農作業や森林観察、トレッキングなど自然との触れ合いから子どもの感受性などをほぐし、む取り組み。同センターの岩川耕治理事長は「子どもたちが心を成長させるきっかけの場になれば」と話している。

不登校の児童・生徒や社会になじめない若者らの自立を支援する同センターは、受け入れ施設「蔵王いこいの里」を拠点

上山の東北青少年自立援助センター

「ざおう里山教室」 来年2月まで開催

に活動。施設利用者は親元を離れての共同生活から協調性を学び、農作業や土木作業などを通じて自立心をほぐす。通じて自立心をほぐす。通じて自立心をほぐす。通じて自立心をほぐす。

「ニート」「引きこもり」といった若者が増加傾向にあり、全国的な社会問題になっている。こうした現状もあり、同センターでは従来の若者の社会復帰支援に加え、未然の防止策の必要性についても意識するようになった。「自然から学ぶことは多く、子どもたちの心にもプラスになる」と岩川理事長。自然に囲まれた環境を生かし

た教室を本年度、初めて企画した。一泊二日の日程で繰り広げるふれあい教室は、今年五月から来年二月まで毎月一回開催。六月は県内各地から児童九人が参加した。初日は蔵王連峰の宮城県側の駒草平で、コマクサや雄大な景観を観賞。また、雪渓や蔵王坊平で遊んで自然環境を満喫したほか、友達との会話も楽しんだ。東根市から参加した男子児童(11)は「いろんな体験ができて面白い」と笑顔を見せていた。

定員は各回二十人。小学二年生以下は保護者の同伴が必要。参加費は一回四千元。問い合わせは同センター023(679)4005。



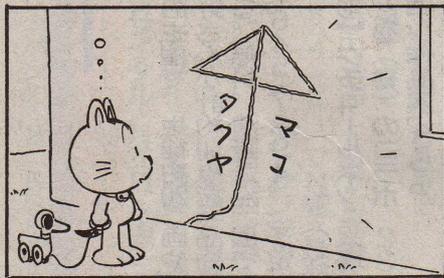
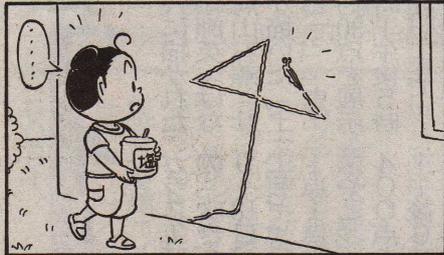
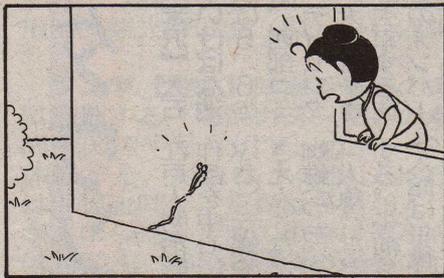
ピクニック気分で一緒に昼食をとる子どもたち
＝上山市蔵王坊平

「県
初めごろ、面識があった水産物輸出入販売会社「魚秀」の非常勤役員を兼務する高知県

詰め込んだ。帳簿上の架空取引にかかわったのは計二社。合わせて約四千万円の手数料

農水省の調査は一本の通報を機に始まった。五月二十三日午前、神戸市

事情を知らない被害者を装った。神港も「ウナギはトラックがどこから持ってき



殖産 養事 配当停止前、金集め強化

期間限定のキャンペーン展開

投資会社ワールドオーシヤを集めていたことが三日、分

ンファーム(東京、破産手続 かった。

警視庁などの合同捜査本部 件で、同社が出資者への配当 は、同社社長の黒岩勇容疑者

を停止した二〇〇七年一月の (59)らが投資金を配当に回す 直前に、期間限定のキャンペーンと称して集中的に投資金を、できるだけ資金を集めよ